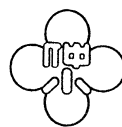


平成 29 年度
NO. 8
10 月 31 日 発行
11 月号

仲町だより



なか よく
ま なぼう
ち からいっばい
練馬区立仲町小学校

引き継ぐ

校長 矢島 直行

秋も深まり、読書やスポーツに最適な季節となりました。秋は、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」とも言われます。また、「実りの秋」でもあります。

植物は春から夏にかけて生長し、秋に大きな実をつくり恵みをもたらします。子供たちも新学年となった春から夏、秋にかけていろいろな行事を経験して、身体だけでなく心も大きく成長しました。子供たちの姿にも「実りの秋」を見ることができます。しかし植物と異なることは、子供たちにとってこの秋がゴールではないことです。これからも引き続きいろいろな経験を通して、さらに大きく成長し続けることです。

先日の台風 21 号は、各地で大きな被害をもたらしました。本校でも子供たちの登校が 2 時間遅くなるだけではなく、夜に本校東側の桜の木が倒れました。幸いにも事故やけが等はありませんでしたが、本校の桜の木は、開校当時に地域の方々が植えていただいたものです。60 年の長い月日をかけて成長し、学校を見守り、見事な花を咲かせてくれた桜の木です。大変残念ですが木にも寿命があります。これからも開校当時の地域の方々の思いを引き継ぎながら、仲町小学校が成長を続けていけるように努めていきたいです。

さて、学校では 10 月 26 日（木）、全校オリエンテーリングを行いました。天気にも恵まれ 800 名を越える子供たちと教員が、長い列をつくって城北中央公園へ移動しました。全校オリエンテーリングは、縦割り班での活動です。「6 年生は、学校の顔」と言われるように、オリエンテーリングでは、6 年生を中心に上級生が下級生に優しく接する場面が見られました。縦割り班をリードする 6 年生の姿が、下級生の良いお手本となりました。6 年生が 5 年生、上級生が下級生にと引き継いでいく機会でもあります。

また、6 年生が運動会について、「1 年生のときからあんなにあこがれていた 6 年生が今、自分なのは何だか不思議ですが、運動会のマーチングや組体操で少しは 6 年生らしいあこがれの姿をみせられたと思います。」と感想に書いていました。6 年生は全校の子供たちにとってあこがれの的ですが、6 年生の姿を下級生はしっかり見ています。6 年生の 1 年間だけで身に付くものではありません。それまでに培ってきたものがあります。学校が一体となって子供たちを育てていく力が、学校力ではないでしょうか。この繰り返しが学校力をさらに高めていくことにつながります。これからも仲町小学校のよき伝統を引き継いでいけるようにしたいです。

11 月 16 日（木）、17 日（金）、18 日（土）には、展覧会があります。「自分の表現で創り出す 楽しい想像と夢の世界」をテーマに、子供たちの力作が展示された体育館が美術館に変身します。図画工作科の学習成果が発揮され、子供たちの無限の可能性を秘めた作品が飾られます。展覧会を是非ご参観いただき、励ましの言葉をかけていただけましたら、子供たちも大きな自信となり次に生かしていくことができます。

皆様の仲町小美術館へのお越しをお待ちしております。